

1989年(平成元年)

11月15日号

No. 555

広報

# あしや

芦屋市の人口と面積

—平成元年10月1日推計人口—

人口総数	87,841	世帯数	32,077
男	41,208		
女	46,633	面積	17.31km <sup>2</sup>

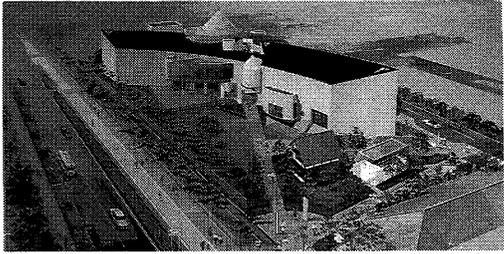
発行

芦屋市役所(公聴広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

毎月1日・15日発行



## 市民参加のまちづくり

### 地区懇談会で活発な意見交換



広報委員会が主催する地区懇談会が、十月三十日から十一月六日までの五日間、芦屋浜住宅管理センターなど市内五会場で行われました。

地区懇談会は、住民の声を市に反映させるため



11月2日山手幼稚園会場で行われた地区懇談会

に、広報委員会が行政と市民のパイプ役となって開催するものです。テーマは、あらかじめ広報委員会幹事会で、毎年その年にふさわしい内容を協議し決定しています。

今年、「他人に迷惑を

かけない快適なまちづくりのために」をテーマに社会問題となっている不法駐輪・不法駐車、ボイ捨ての空き缶や犬のふんなど市民生活の支障をきたしている問題について懇談しました。

## 市議会 日程

### 12月5日に開会

十二月の定例市議会は、五日に開会され、次の日

- ▽二十一日(木) 本会議(予備日)
- ▽二十六日(火) 閉会
- なお、この日程は変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 問い合わせは、市議会議事局(☎2121内線552)へ。
- ▽十九日(火) 本会議
- ▽二十日(水) 本会議
- (木) 常任委員会
- ▽十一日(月) 十四日
- 決算特別委員会
- ▽六日(水) 八日(金)
- ▽五日(火) 開会

## 富田碎花旧居 展観

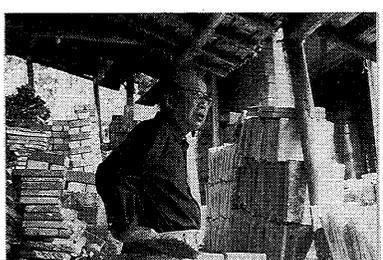
碎花 焼きものの里から  
会期中 来春3月28日まで

今回の展観では、河合卯之助氏の向日町窯での染付と立杭を中心として中国・韓国を加えた水滴約四十点を展覧しています。

十一月二十二日(水)午後一時三十分から民具研究家の仙賀松雄氏が、富田碎花旧居で「兵庫の焼きもの」について講演を行います。

開館日は水曜日と日曜日、入館料は無料です。

問い合わせは、市教育委員会社会教育文化課文化財係(☎9066)へ。



立杭の里を訪れた碎花

## 美術部 学芸員1人を募集

市は、来年十一月開館予定の(仮称)市立美術館・郷土資料館の美術部部門の学芸員(行政職)一人を募集します。

受験申し込みの受付期間は十一月十五日(水)から二十四日(金)まで、郵送による受け付けも行います。試験は十二

月八日(金)、市役所分庁舎で行います。

受験資格は、昭和三十一年四月二日以降生まれで、大学または大学院で美学、美術史学科(これに準ずる学科を含む)を卒業または来春卒業見込みの人で、学芸員の資格を持つ人です。

なお、来年四月一日採用時の基準月収は、来春大学卒業のかたで十五万三千四百七十円(諸手当を除く)です。

建物はすでに十月に建設工しています。美術部部門では、芦屋ゆかりの小出権重、吉原治良と具体グループの作品を中心に整えていくことになっています。

問い合わせは、市人事課人事担当係(☎2121内線286)へ。

## 愛の献血運動

11月26日(日) 前10時～午後四時 会場：芦屋ラポルテ前広場

ポルテ前広場 対象：十六歳～六十四歳 問い合わせ：市保健センター(☎1586)

富田碎花旧居では、特別展「碎花焼きものの里から」染付陶器と水滴」を開催中で、会期は来春の三月二十八日までです。

碎花は、兵庫県下を旅し歌をつくり、「兵庫県文化の父」と呼ばれました。当時、硫酸ツボと植木鉢を焼いていた立杭(多紀郡今田町)を訪れた碎花は、日常雑器の導入を図り、今日観光客で埋まる立杭の里の基礎をつくりました。

## 市制50周年まであと1年

### —菊花展覧会に思う—

人工栽培の進歩で、花も野菜も季節感がなくなりましたが、やはり秋ともなりますと、キンモクセイの芳香に続いて、ふくいくとした菊の香りがまちを包んでくれます。田園地帯では、野菊が季節を知らせてくれるように、今年の芦屋公園で開催された菊花展が秋を告げ、あちこちの門先や公園などの菊を見ると、何となく心になごみを覚えます。

この「菊」という花、元来は中国のもので、天平時代に伝来したそう



市長随想  
見よる記 27

ですが、春の桜とならんで日本を代表する名花となつています。兵庫県では、のじ菊を県花として、これも皆さんご存じのことです。

愛好家の話により、花が終った時から来年の花づくりに取りかかると、一年かけて立派な花を咲かせるものなそうです。何気なく、そんなことを思っていると、来年の菊のシーズンには、市制施行五十周年の記念すべき節目と同時に、教育委員会発足四十周年、自治体消防発足四十周年を迎えることに思いをはせま

なるお祭りではなく、今日

日の芦屋市を育(はぐく)んでこられた先人の徳をしのび、百年後、二百年後に向けて限らない飛躍へのステップにしたいと考えます。

この五十周年記念事業は、いかにあるべきかと広く市民の皆さんの意見をいただくため、昨年から懇談会を設け、ようやく担当職員のところまでとまっています。

まもなく、その全容をお知らせすることができると思いますが、シンボルマークの決定や早い段取りの必要な五十周年にちなんで、新芦屋50景のフォトコンテスト募集、(仮)芦屋今むかし写真集の写真収集の呼びかけ

などを行ってききました。写真の募集には、大勢のかたからご意見や資料提供の申し入れを受け、感謝いたしておりますが、またとない機会ですから秘蔵の写真等をお持ちでしたら、さらにご協力をお願い申し上げます。

建物では、市役所庁舎の増築が来年十一月完成を目指して順調に進んでいます。市立美術館・郷土資料館も着工できました。五十周年の記念事業を通じて、市民の皆さんとともに、芦屋市の未来に展望を大輪の花を咲かせよう、努めてまいります。ご協力をお願いします。(芦屋市長 山村康六)

# すばらしき童画の世界

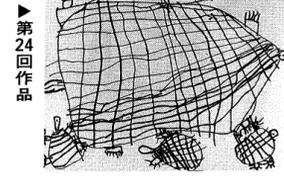
# 第40回記念童美展

12/6(水)〜18(月)・市民センター

市民センターで毎年開催されている童美展は、今年で第40回の記念展を迎えます。今号では、一流の芸術家を審査員に迎えて、全国から多くの作品が寄せられるユニークな美術展「童美展」を特集します。



子供の絵にのぞむのもっと自由に もっと豊かに



戦後のどん底からまだ抜け出せない昭和二十三年、当時すでに中央画壇で活躍していた伊藤雄雄が、吉原治良、山田皓齋、中山岩太、ハナヤ勘兵衛の各氏ら市内在住の芸術家が中心になって芦屋市美術協会が発足しました。そして、芦屋市と芦屋美術協会の二大美術展

として、春の芦屋市展と秋の童美展が開催されてきました。童美展は、子供の絵を大人の絵より技術的に劣ったものとしてみるのではなく、子供の発達段階に応じた、幼児にしかないすばらしい創造性を審査の基準にして始められました。

現在では、近畿圏を中心に毎年一万点近くの応募があります。昨年も市民センター1つばいに展示され、全国的にもまれな幼児の美術展として評価を受けています。市民センター文化事業係(☎4995)へ。

ただ、絶えずよい刺激を与えてやるのが非常に大切だと思う。よい景色の所へ連れて行くことめずらしい喜ぶものを見せるとかすることなどで、そのことは達せられるで

京都教育大学教授 嶋本 昭三氏  
絵はだれにでも描けて、だれも楽しめる世界である。だが、学校での絵の時間は、現在楽しむための存在にすぎない。技術を教える、だが、いばんうまく描けるか、その競争である。楽しんで描けるか、それが大事。楽しんで描けるか、それが大事。楽しんで描けるか、それが大事。

幼児の優れた表出表現は偉大な芸術制作行動に似ている。違いは精神化されていない点にある。優れた行動は「情」と「意」だけである。行動の瞬間に「知」が挿入されたら行動はあり得ない。同時に行動の前後に「知」を配置しない行動はまたとに足らない。

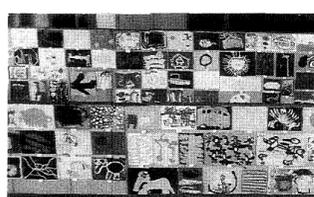
この哲理を地で行っている作品を選べる日本では唯一の幼児作品展が芦屋童美展である。それ故に私は保育者に療育の関心のよりどころとするために本会に搬入していただくことを薦めている。

「すこやかに生きるために、はげたまるか」をテーマに看護職員によるパネル・展示・相談等を行います。

Table with 2 columns: 時間 (Time) and 内容 (Content). Includes details for a lecture and a practical exercise.



審査員のご紹介  
現在、第1回から審査員を続けているのは、若い前衛画家の登龍門である芦屋市の上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。



審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

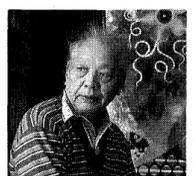
審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。

審査員のご紹介  
伊藤雄雄、前山秀治、元永定正、嶋本昭三、上前智祐、嶋本昭三、白髪一雄、鷺見康夫、田中三郎、元永定正、川強、正延正俊、松田豊、村上三郎、吉田稔郎、吉原通雄各氏や彫塑の紀氏らによって審査が行われています。



青屋童美展は終戦直後(昭和二十三年)に、芦屋市美術協会の発足により、会の年間行事として春の市展(大人対象)と秋の子供を対象とする展覧会として発足しました。

会場の最初は芦屋川畔にある仏教会館を借りて開催しました。会の審査では、当初から創意を重んじ、各自の感動を素直に表現した作品だけを運びました。ですから学校や園でまとめて出品される場合でも、あくまで個人の意思で出品することとを原則としました。大ききも市展並みで、ペニヤ板を三枚並べたものまでとし、ずいぶん思ひきったものでした。その後、

このように全国的な規模に広がって質量共に最もユニークな美術展としての評価を受けています。この展覧会は幼児が描いているから幼稚であるというのではなく、原始人の描いたアルタミラの洞窟の壁面が、現代人の心に強く訴えるように、同質の美しさに輝いています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

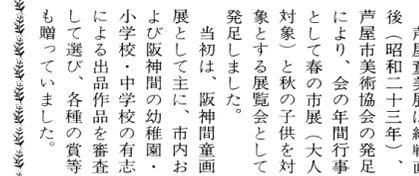
また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。



青屋童美展は終戦直後(昭和二十三年)に、芦屋市美術協会の発足により、会の年間行事として春の市展(大人対象)と秋の子供を対象とする展覧会として発足しました。

会場の最初は芦屋川畔にある仏教会館を借りて開催しました。会の審査では、当初から創意を重んじ、各自の感動を素直に表現した作品だけを運びました。ですから学校や園でまとめて出品される場合でも、あくまで個人の意思で出品することとを原則としました。大ききも市展並みで、ペニヤ板を三枚並べたものまでとし、ずいぶん思ひきったものでした。その後、

このように全国的な規模に広がって質量共に最もユニークな美術展としての評価を受けています。この展覧会は幼児が描いているから幼稚であるというのではなく、原始人の描いたアルタミラの洞窟の壁面が、現代人の心に強く訴えるように、同質の美しさに輝いています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

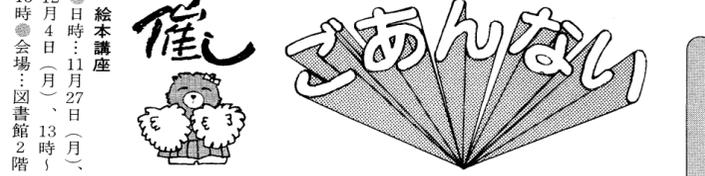
また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。

また、芦屋の持つこのような文化性を海外にも紹介したいと考えています。



集合室対象：成人・定員：90人(先着順)講師：平松三三(元神戸市立図書館司書)費用：無料(申し込み費：図書館 ☎2301)

六甲山系砂防講演会  
日時：11月22日(水) 14時〜16時30分  
会場：瀬神戸生協生活文化センター  
内容：講演会「六甲山が見えてくる」(講師 神戸大学教授 田中真吾氏)、映画、パネル展、応答方法：市計画課 務課で整理券交付(問い合わせ：計画係 ☎2121内線432)

老健法に基づく健康診断  
今年5月から7月中旬、連続して内科医にかかったこと、老人65歳以上のかたに、老人保健法に基づく健康診断を行います。大腸がん検診(今年から実施)肺がん検診もあわせて実施します。ご希望のかたは、各医療機関に申し出て下さい。

児童扶養手当証書をお渡しします  
8月にお預かりしました児童扶養手当証書、11月末までにお渡しします。手当ては、12月11日

納税のお知らせ  
個人事業税第2期分の納期限は11月30日(木)までです。

納期  
今月が納期です。忘れずに期限内に納めましょう。

学校給食展 「好きになってほしいな 野菜たち」  
12月1日(金) 12時〜16時  
2日(土) 12時〜16時  
3日(日) 10時〜15時  
市民センター ロビーA・B  
●児童作品展示 ●パネル展示 ●クイズコーナー ●試食コーナー (1日・2日のみ) ●コンピュータコーナー  
市教育委員会学校教育課 ☎2121内線505

第40回童美展記念講演会 (入場無料)  
"子供の創造性を伸ばすには"  
講師 曾根 靖雅氏  
12/6(水) 午後2時〜4時  
会場 ルナ・ホール  
明日を担う子供たちを「心豊かな、個性あふれる子供に育てるため」ぜひご参加ください。  
☆託児(2歳半以上)申し込み 11月30日(木)までに 市民センター文化事業係 ☎4995 まで

大原第1地区 事業計画案の縦覧  
大原第1地区第1種市街地再開発事業の事業計画案を下記のとおり縦覧します。  
期間 12月1日(金)〜12月14日(木) 9時〜17時10分(日曜日は除く)  
場所 市開発事業部(船戸町3-25)  
その他 計画案に、意見のある関係権利者は縦覧完了後2週間以内に意見書を提出することができます。  
問い合わせ 市開発事業部 ☎3781

第40回記念童美展  
12/6(水) 18日 芦屋市民センター  
「子供の創造性を伸ばすには」  
講師 曾根 靖雅氏  
12/6(水) 午後2時〜4時  
会場 ルナ・ホール  
明日を担う子供たちを「心豊かな、個性あふれる子供に育てるため」ぜひご参加ください。  
☆託児(2歳半以上)申し込み 11月30日(木)までに 市民センター文化事業係 ☎4995 まで

看護フェア  
「すこやかに生きるために、はげたまるか」をテーマに看護職員によるパネル・展示・相談等を行います。  
日時：11月25日(土)、午前10時〜午後4時  
場所：西宮市総合福祉センター  
問い合わせ：保健センター ☎1586

こちら内線325番 消費生活センターです (市分庁舎経済課内 ☎2121)  
★芦屋市消費生活センターが、市内の13店舗(市場・スーパー・百貨店・その他)で、食料品を中心とした17品目の価格を調査しました。暮らしの参考にお役立てください。  
★左図は、13店舗を7月・9月の平均価格で比較して、価格の低い店舗第5位までを表示しています。  
調査品目は▽生鮮野菜(きゅうり、じゃがいも、たまねぎ、にんじん、大根、キャベツ)▽肉類(牛肉、豚肉、鶏肉)▽乳卵類(鶏卵、牛乳、バター)▽油脂、調味料等(砂糖、しょうゆ、サラダ油、マヨネーズ、小麦粉)。  
★生鮮野菜は、品質・鮮度が同程度のものを調査するように努めていますが、同じ等級品での調査ではありません。なお、油脂・調味料等は商品名を指定して、同一のものを調査しています。  
★前回(四月・六月)の市内平均価格を100としますと、今回の市内平均価格は102と少し高くなっています。

# 人生の幸福とは？

私たち一人ひとりの、人間としての幸福について、福沢諭吉の幸福論をはじめ、いろいろな人が数多く説いています。これらをまとめますと、

- ①心身ともに健康で長生きすること
- ②生涯を貫く仕事や生きがいをもつこと
- ③社会に参加すること

の三つに表現できます。現在、生活の面においては、物質的に豊かになり

りましたが、その反面、精神的な貧しさが顕在化しつつあるのが現状です。自分の求める「幸せ」を築いていくためには何が大切か。このような問題意識を持つことが生涯学習の第一歩です。これまでの日本の社会では、「仕事のために」、「家のために」、「子供のために」を唯一の生きがいの対象として、生き抜いてきた人々が実に多かつた。

未知の友と交信したくなかった。しかし、戦争中だったためその機会がなかった。そこで夢をもう一度とチャレンジしました。約二十日間の受講中、孫のような年齢の若者たちと一緒に学習したり、交流ができ、この経験をぜひ仲間にも伝えたい。

「新しい刺激を受けることは、我々高齢者にとって素晴らしい体験でもあり、美しく老いるためのエネルギー源でもある」

この話を聞いた高校生グループから「アンテナ工事は僕たちでやります」と心のこもる声が上がっています。あとしばらくすると、全国の友を求めて、電波にのった「CQCQ」

Q こちらはJQ3NBGB……という高城さんの第一声が芦屋の空からこだますることでしょう。

## 若いころの夢再び



高城喜久夫さん

若いころから抱いていた夢や希望を実現させた宮塚町の高城喜久夫さん(七十五歳)を訪問しました。

高城さんは、神戸の教室で若者と一緒に受講し、みごとアマチュア無線のライセンスを取得されました。

その喜びの声

「五十年来の夢がかないました。中学生の頃ラジオ放送が始まり、聞くだけでは飽き足らず、組み立てたりしていたのですが、そのうち、自分で電波を出し、

## 市民からのメッセージ

提言を 読んで



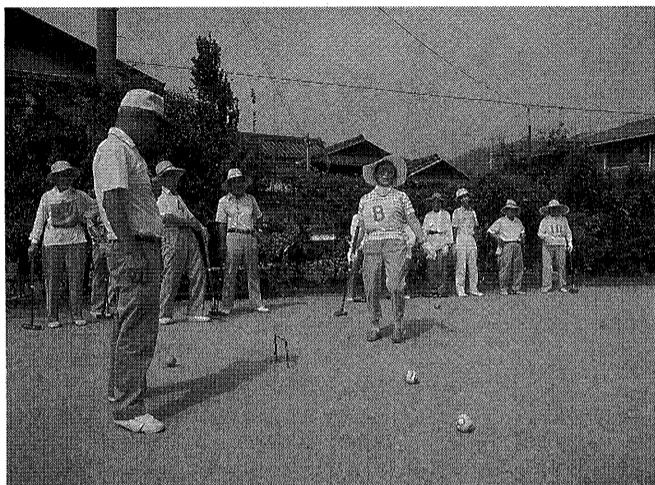
「広報あしや」(十月十五日号)に掲載された芦屋市生涯学習推進懇話会からの提言を読み、これからは生涯学習の時代であると思

い、なかでも高齢者問題は大切なことだと痛感しました。

私は医師として働いていますが、仕事を通して痴呆性老人や寝たきり老人対策について今後どのような対策が必要か考えさせられます。これからは、福祉対策と学習活動が両輪として、健康な高齢者になっていただくことが必要です。

私にも何かできることがあれば、ぜひ芦屋のために協力したい。

(太田富久子さん 朝日ヶ丘町在住)



ゲートボールを楽しむ高齢者

# わ た し の 生 涯 学 習

—あたらしい私、発見しています—

## 孫へのプレゼント



若谷哲夫さん

中学生のころから作曲に興味をもち、プロの道へと進みたかったが、いろいろな理由から断念。しかしその思いを胸に抱きつつ、定年後、朝日カルチャーの「作曲講座」

で学習され、発表会を開かれた南宮町の若谷哲夫さん(六十七歳)に学習の動機を聞きました。

「作曲が好きで、数え切れないくらい曲を作りましたが、これらの曲を孫がピアノで弾こうとしたとき、音楽の基礎が出来ていなかったりしたら、孫が失望するかも知れな

として孫へプレゼントをしたいという願いから」

発表会を開かれた芦屋少年少女合唱団の指揮者森岡さんは「すばらしい作曲です。例えば市民文化祭などの場で、ぜひ市民の方々に披露したい」

若谷さんはこれからも地域の人々や家族の温かい励ましの中で作曲することに生きがいを見いだされ、青春時代にできなかったことを今取り戻そうとされています。

## 古典とおばあちゃん



小林千枝子さん

「大原老人憩いの家を利用していろいろな活動をしてきましたが、そのほかに有意義な過ごし方はないものか」と思っ

て始めたのが、源氏物語

のテープを聞くことでした。さらに「奥の細道、万葉集、平家物語と続けて聞いているうちに、公民館講座「平家物語」の受講がきっかけとなり古典の世界に浸ってしまいました」と語られる東芦屋町の小林千枝子さん(七十二歳)。芦屋のまちに古典文学の華を咲かせようと、村山リウ先生に

協力依頼をされ、先生も感動されて、ルナ・ホールで、「文化振興財団」と「紫雲の会」の共催で「村山リウ古典講座」を企画され、多くの市民の方から喜ばれています。

小林さんはもう一つの夢について「古典学習を高齢者だけではなく、中学生、高校生と共に学習できれば、もっと素晴らしい文化が芦屋に咲くのではないのでしょうか」と語られています。

## 行政の役割

ほかに、多くの市民がそれぞれの地域で素晴らしい学習活動をされています。このような活動を支援するのが行政の役割です。本市では、生涯学習のまちづくりを、いろいろな行政機関が共に取り組む総合行政として進めています。

公民館をはじめいろいろな学習施設で、学級・講座活動や文化・スポーツ

ツなどの事業を開催しています。また、学習グループや指導者(講師)の紹介などの学習相談も受けています。

この教育のページでは、生涯学習を進めるための学習情報として編集いたしますので、いろいろな情報をお寄せください。

問い合わせは、教育委員会社会教育文化課(☎2121内線524)です。

### コミスクだより

浜風コミスク「消費者教室」

◎日時 11月28日(火) 10:00~11:30

◎場所 芦屋浜センタービル3階小会議室

☆問い合わせ…水本(☎916974)

## 「育てよう みんなを見守る 心の目」

打出浜小学校六年 石戸 雅剛君

(差別をなくそう県民運動)の募集作品

このページは市教育委員会総務課(☎2121内線501)で編集しています。

この「広報あしや」を公演当日ご持参のうえご来場ください。前売券扱いとします。ご利用ください。

# 11/24 (金) 独演会

P.M. 6:30開演(開場は30分前)

入場料 前¥2,400 当¥2,600

(前売券売切の場合は当日券は販売しません)

司 掛 崔 崇 樹  
掛 掛 掛 掛  
首 池 茶 目  
る 阿 猫 替  
る 阿 猫 替

# MOZART IN ASHUYA

12月22日(金)  
18:30開演

ニューフィルハーモニー管弦楽団  
指揮/武田博之  
蔡 旭心(ソプラノ)  
小川哲生(クラリネット)

~クリスマスをもーツァルトと共に~

歌劇「フィガロの結婚」より スザンナのアリア  
クラリネット協奏曲 イ長調 KV622  
交響曲第38番 二長調 KV504「プラハ」ほか

前売¥3,000 当日¥3,300

70歳以上の市民30人を無料招待します。申し込みは、往復はがき(必ず「もーツァルト イン アシヤ」と住所・氏名・電話番号を記入)で、ルナ・ホール協会へ。12月8日の消印まで有効。



問い合わせ  
ルナ・ホール協会  
業平町8-24  
(☎31-4962)